

平成30年度

当初予算の概要
「おおつち創生予算」

大槌町

◆◆◆ 目 次 ◆◆◆

1. 平成30年度一般会計当初予算について	P 1
2. 各会計予算総括表	P 2
3. 一般会計予算款別総括表	P 3
4. 町債残高	P 5
5. 自主財源の状況	P 6
6. 国保・介護・後期高齢者医療の状況	P 7
7. 下水道事業・漁業集落排水処理事業の状況	P 8
8. 主要事業について	P 9

1. 平成30年度一般会計当初予算について

～復興を見据えた大槌再構築～

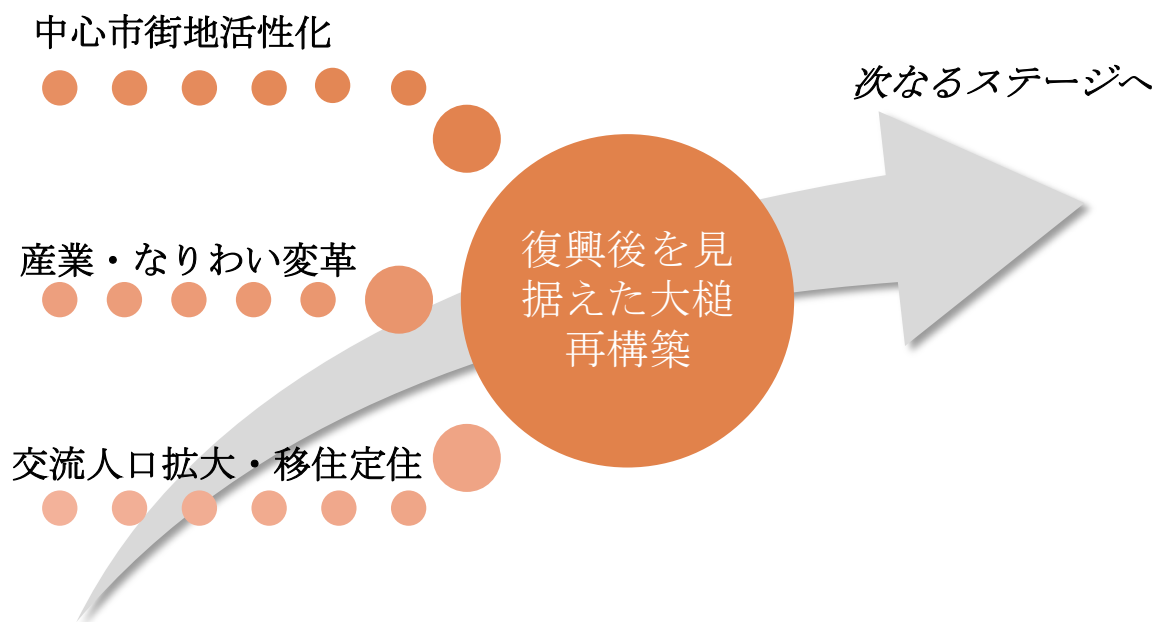
平成30年度 一般会計当初予算額 **383 億 1,000 万円**

復興費は復興事業の終期が見え始めてきたことにより、293 億円で前年度 437 億円から 144 億円の減となっています。また、土木費の社会資本整備総合交付金事業（復興枠）は、（仮称）三枚堂大ケロ間トンネル工事、大槌橋架替工事の進捗に伴い 19 億円の減となっています。

重点的課題対応分として6次化による新産業を創造するための核となる施設整備、保育体制の強化及び保育士確保、移住・定住促進、斎場整備、駅舎整備、赤浜分館に要する経費を予算措置しました。

復興後を見据えた真の大槌再構築を図る為、①中心市街地のさらなる活性化、②産業・なりわい変革を誘導し、町民の所得向上を図り、③交流人口の拡大・移住定住の促進による人口増加を最重要課題の柱とする3本の矢を掲げ、「**おおつち創生予算**」として予算編成しました。

平成29年度「にぎわい再生予算」から始まり、平成30年度「おおつち創生予算」による、3本の矢を重点施策とし、平成31年度以降は、第9次大槌町総合計画に基づく成長戦略予算を編成し、10年後の2028年度までに町民所得、県内10位以内を目指します。



2. 各会計予算額総括表

(1) 各会計予算総括表

(単位：千円)

会計区分		平成30年度	平成29年度	比較増減	伸 率
一般会計		38,310,000	54,880,000	△16,570,000	% △30.19
特別会計	国民健康保険 特別会計	1,868,456	2,197,927	△329,471	△14.99
	下水道事業 特別会計	4,159,322	6,137,700	△1,978,378	△32.23
	漁業集落排水処理事業 特別会計	1,610,410	1,867,763	△257,353	△13.78
	介護保険 特別会計	1,430,145	1,381,806	48,339	3.50
	後期高齢者医療 特別会計	120,833	121,050	△217	△0.18
	小 計	9,189,166	11,706,246	△2,517,080	△21.50
合 計		47,499,166	66,586,246	△19,087,080	△28.67

3. 一般会計予算 款別総括表

(1) 歳入の状況

(単位：千円)

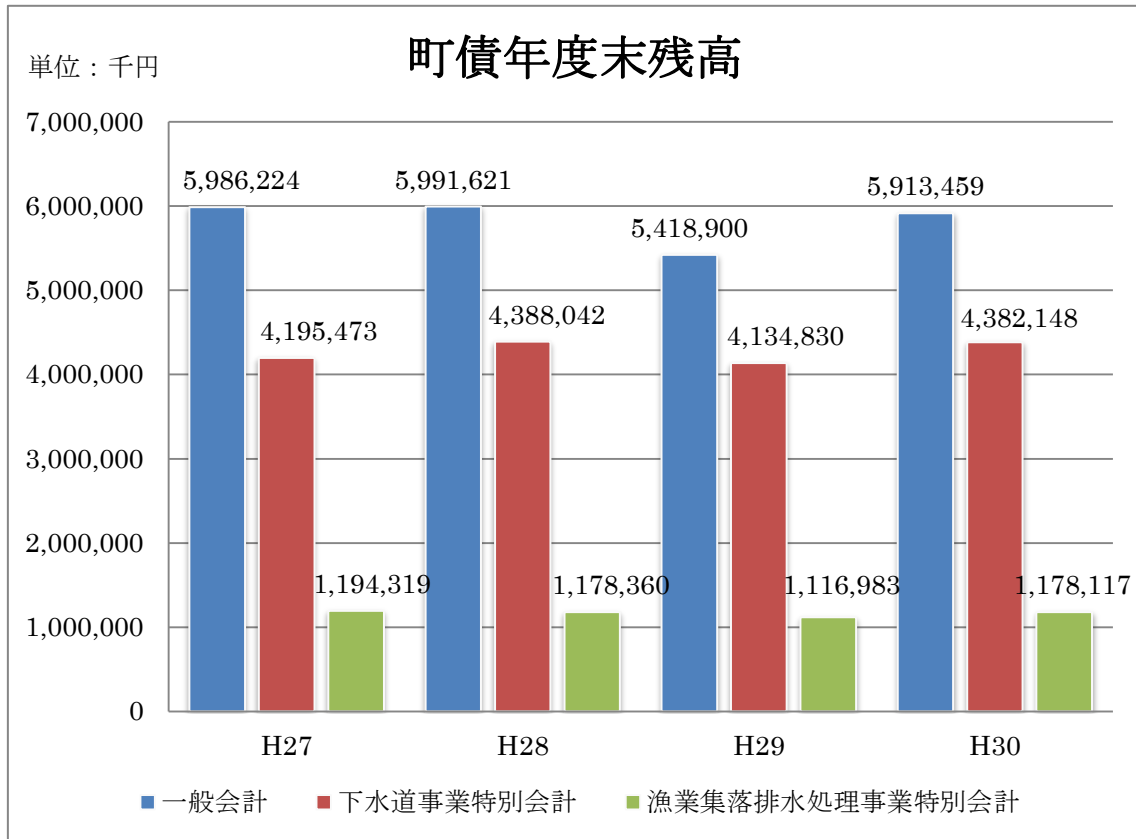
	平成30年度	平成29年度	増減額	主な要因（昨年からの増減額）
町 税	1,031,230	977,164	54,066	土地の引き渡し等による固定資産税の増加及び税制改正に伴う増加による
地 方 税 譲 与 税	63,522	63,522	0	
各 種 金 交 付 金	229,074	229,824	△ 750	
地方特例 交 付 金	1,918	1,918	0	
地 方 税 交 付 税	8,553,965	12,250,764	△ 3,696,799	震災復興交付税：復興事業の進捗に伴う減額による
分 担 金 及 び 負 担 金	625,107	1,305,713	△ 680,606	復興整備事業に伴う水道事業会計負担金の減額による △668,827千円
使 用 料 及 び 手 数 料	147,286	124,914	22,372	町営住宅使用料の増加による 21,643千円
国庫支出金	1,240,109	3,053,537	△ 1,813,428	復興整備事業の進捗に伴う土木費国庫補助金の減額による
県支出金	1,348,641	1,293,611	55,030	①生活再建住宅支援事業 42,165千円 ②被災者住宅再建支援事業の増加による 33,300千円
繰 入 金	23,038,336	33,323,517	△ 10,285,181	①財政調整基金からの繰入金 △579,172千円 ②復興事業の進捗に伴う東日本大震災復興交付金基金からの繰入金 △7,899,534千円
地 方 債	1,038,646	976,546	62,100	斎場整備事業 161,000千円 リサイクルセンター整備事業 19,900千円 生産物6次化加工施設整備事業 170,000千円 防災行政無線整備事業 32,700千円 公民館整備事業 16,900千円 公立社会施設災害復旧事業 72,900千円
そ の 他	992,166	1,278,970	△ 286,804	①防集団地売払収入による財産収入の減少 △473,753千円 ②ふるさと納税寄附金 34,000千円
計	38,310,000	54,880,000	△ 16,570,000	

(2) 歳出の状況

(単位：千円)

款	平成30年度	平成29年度	増減額	主な要因（昨年からの増減額）
議 会 費	75,775	75,655	120	
総 務 費	1,164,539	930,040	234,499	自治体クラウド運用事業 20,028千円 地方創生事業 184,479千円 移住・定住促進事業 20,800千円
民 生 費	1,843,531	2,161,838	△318,307	社会福祉総務費人件費 △18,436千円 保育所費人件費 △26,355千円 保育所等整備事業 △267,069千円 安渡保育所運営費 △11,866千円
衛 生 費	1,089,481	1,541,822	△452,341	水道事業会計負担金事業 △89,001千円 斎場整備事業 66,340千円 マテリアルリサイクル施設整備事業 △581,197千円
労 働 費	10,654	9,089	1,565	
農林水産業費	530,159	250,449	279,710	農林業系廃棄物処理加速化業務委託料 235,560千円 県営漁港施設機能強化事業負担金 42,300千円
商 工 費	137,995	136,322	1,673	観光物産協会運営費補助金 5,000千円
土 木 費	2,153,789	3,759,416	△1,605,627	土木総務費人件費 △37,931千円 大ケ口線（新大柱橋）橋梁整備工事 △318,552千円 三枚堂大ケ口線(トンネル)道路整備工事 △1,642,470千円
消 防 費	466,849	464,067	2,782	常備消防費 14,343千円 非常備消防費 3,591千円 災害復旧事業 △15,632千円
教 育 費	661,593	640,186	21,407	事務局費人件費 △17,321千円 スクールバス維持管理事業費 23,258千円 中央公民館修繕工事 16,922千円
災害復旧費	121,203	395,777	△274,574	公共土木施設災害復旧事業 △89,174千円 社会教育施設災害復旧費 △59,040千円 御社地復興拠点災害復旧整備事業 △132,559千円
公 債 費	597,007	650,090	△53,083	償還終了に伴う元金及び利率の低下に伴う利子の減
諸 支 出 金	53,528	52,502	1,026	
予 備 費	30,000	50,000	△20,000	
復 興 費	29,373,897	43,762,747	△14,388,850	防災集団移転促進事業 △115,900千円 復興整備事業 △6,793,000千円 市街地復興事業 △4,928,204千円 災害公営住宅整備事業 △909,581千円 東日本大震災復興交付金基金費 △473,752千円
計	38,310,000	54,880,000	△16,570,000	

4. 町債残高



(単位：千円)

会計名称	H22	H27	H28	H29	H30見込
一般会計	6,679,096	5,986,224	5,991,621	5,418,900	5,913,459
下水道事業特別会計	4,434,319	4,195,473	4,388,042	4,134,830	4,382,148
漁業集落排水処理事業特別会計	1,325,720	1,194,319	1,178,360	1,116,983	1,178,117

一般会計状況

平成30年度当初予算において起債見込額は10億3,864万円を見込んでおります。
元金償還額においては5億4,408万円を見込んでおります。
主たる起債事業は、過疎対策事業債6億4,470万円、辺地対策事業債1億3,480万円、消防債で3,590万円となっております。

交付税措置を受けることが出来る起債事業を選択し、町財政に対し負担を少なくするように借入を行っております。

5.自主財源比率の状況

自主財源と依存財源（復興事業関連の財源を除く）

（単位：千円）

区分		平成30年度		平成29年度		比較 A-B=C	C/B ×100
		当初予算額A	構成比	当初予算額B	構成比		
自主財源	町税	1,031,230	15.1	977,164	14.3	54,066	5.5
	分担金及び負担金	13,663	0.2	25,442	0.4	△ 11,779	△ 46.3
	使用料手数料	147,286	2.2	32,373	0.5	114,913	355.0
	財産収入	50,120	0.7	34,151	0.5	15,969	46.8
	寄附金	103,553	1.5	67,853	1.0	35,700	52.6
	繰入金	348,853	5.1	251,949	3.7	96,904	38.5
	繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
	諸収入	134,928	2.0	126,472	1.8	8,456	6.7
小計 D		1,829,634	26.7	1,515,405	22.1	314,229	20.7
依存財源	地方譲与税	63,522	0.9	63,522	0.9	0	0.0
	利子割交付金	983	0.0	983	0.0	0	0.0
	配当割交付金	1,368	0.0	2,118	0.0	△ 750	△ 35.4
	株式等譲渡所得割交付金	968	0.0	968	0.0	0	0.0
	地方消費税	220,000	3.2	220,000	3.2	0	0.0
	自動車取得税	5,000	0.1	5,000	0.1	0	0.0
	地方特例交付金	1,918	0.0	1,918	0.0	0	0.0
	地方交付税	2,478,400	36.2	2,678,400	39.1	△ 200,000	△ 7.5
	交通安全交付金	755	0.0	755	0.0	0	0.0
	国庫支出金	892,859	13.0	876,036	12.8	16,823	1.9
	県支出金	433,280	6.3	430,455	6.3	2,825	0.7
	町債	913,246	13.3	531,546	7.8	381,700	71.8
小計 E		5,012,299	73.3	4,811,701	70.3	200,598	4.2
合計 F		6,841,933	100.0	6,327,106	92.5	514,827	8.1

自主財源比率

	H30当初	H29当初	差引
自主財源 D	1,829,634	1,515,405	314,229
歳入総額 F	6,841,933	6,327,106	514,827
自主財源比率 D/F	26.7%	24.0%	2.8%

6. 国保・介護・後期高齢者医療の状況

◇国民健康保険特別会計

当初予算額 **18億6,845万円**

歳入 国民健康保険税

保険税は、平成30年度当初予算額2億4,276万円を見込んでいます。
被保険者の減少に伴い保険税の減を見込んでおります。収納率は、前年度までの収納実績を勘案し、90%としております。

歳出 保険給付費

保険給付費を13億5,151万円と見込んでいます。被保険者数が減少傾向にありますが、平成30年度も一部負担金の免除等のため一人当たりの給付費は震災前と比べて増加しており、一人当たりの医療費は、県内でも高水準にあります。

◇介護保険特別会計

当初予算額 **14億3,014万円**

歳入 介護保険料

保険料は、平成30年度当初予算額2億7,642万円と、対前年比3.6%増と見込んでいます。

第7期（平成30年度～平成32年度）の保険料の標準月額6,072円となり、第6期（平成27年度～平成29年度）の5,492円と比較すると10.5%の増となります。

歳出 保険給付費

保険給付費は13億3,848万円を見込んでいます。要介護認定者等の増、介護報酬の増額改定などの理由により前年度比で2.8%の増となります。

◇後期高齢者医療特別会計

当初予算額 **1億2,083万円**

歳入 後期高齢者医療保険料

保険料は平成30年度当初予算額7,491万円を見込んでおり対前年比1.1%増と見込んでいます。

歳出 後期高齢者医療広域連合負担金

岩手県の全市町村が共同で実施している後期高齢者医療に、負担金1億1,858万円を支払います。

被保険者数の状況（震災前との比較）

	国民健康保険		介護保険		後期高齢者医療	
	H23.2 末	H30.1 末	H23.2 末	H30.1 末	H23.2 末	H30.1 末
被保険者数	4,937	3,234	5,059	4,360	2,716	2,290

7. 下水道事業・漁業集落排水処理事業の状況

下水道事業特別会計

当初予算額 41億5,932万円

歳入 下水道使用料

下水道使用料は、平成30年度当初予算額4,778万円を見込んでいます。震災前は、例年6,000万円近い収入がありましたが、震災の影響により使用世帯数の減少したことにより減額しておりますが、震災後の整備により年々増加しています。

歳出 復興費

復興交付金事業により各地区の復興に伴う管路整備のために35億1,323万円を計上しました。また、未普及であった沢山地区に污水管を社会資本整備総合交付金を活用して整備するため予算を計上しています。

漁業集落排水処理事業特別会計

当初予算額 16億1,041万円

歳入 下水道使用料

下水道使用料は、平成30年度当初予算額2,401万円を見込んでいます。

歳出 復興費

復興交付金事業により各地区の復興に伴う管路整備のために14億9,242万円を計上しました。

8. 主要事業について

ー 総務費 ー

1	2-1-10 企画費	財政課
	ふるさと納税一括代行業務委託料他	47,131 千円
ふるさと納税に係る寄附申請等、返礼品の発送管理、プロモーションを観光交流協会等に委託しふるさと納税をとおして大槌町の魅力発信を実施するものです。		
特産品開発・プロモーション委託料 8,500 千円 事務一括代行委託料 37,000 千円		

2	2-1-10 企画費	総合政策課
	鎮魂の森基本設計委託等	12,161 千円
東日本大震災に係る追悼施設を整備する事業であり、平成30年度は町民の皆様の意見を聞きながら、町民皆で犠牲者の方を追悼する場を作っていきます。		
基本設計委託料 12,161 千円		

3	2-1-15 情報化推進費	総務課
	携帯電話等エリア整備設計・工事（図1）	19,000 千円
携帯電話が利用できない地域において、携帯電話等エリア整備事業補助金を活用し、事業者の協力を得ながら町が基地局等を整備するものです。		
場所：長井地区 参画事業者：KDDI（au）		

4	2-7-1 地方創生費	商工観光課
	大槌町特産品開発事業委託料	2,000 千円
町特産品の商品開発やブランド化を行い、付加価値の向上及び知名度向上を図るものです。		
ブランディング及びPRに係る業務委託 2,000 千円		

5	2ー7ー1 地方創生費	農林水産課
生産物6次化加工施設整備工事		170,000 千円
第1次産業の振興のため、共同加工施設機能等の複合施設を安渡産業集積地に建設するものです。		
・場所：安渡産業集積地 ・施設機能：研究・加工、実証販売、研修宿泊施設		

6	2ー7ー1 地方創生費 <継続>	商工観光課
大槌町Uターン就業支援助成金		3,000 千円
町への定住と就業を促進するため、当該事業要件を満たすUターン者に助成金を交付するものです。		
対象：平成27年4月以降に町へ転入した者で、6か月以上同一事業所等に正社員として就業している者（その他要件あり） 交付額：50,000円～250,000円（交付要件による）		

7	2ー7ー1 地方創生費	コミュニティ総合支援室
移住・定住促進事業		15,800 千円
移住定住促進に向けた補助金を交付するものです。		
大槌町定住促進事業住宅取得補助金 5,000 千円 大槌町空き家リフォーム支援補助金 5,000 千円 大槌町民間賃貸住宅家賃支援補助金 4,800 千円 （新規）空き家片づけ支援補助金 1,000 千円		

－ 民生費 －

8	3－2－2 保育所費	保健福祉課
保育体制強化事業補助金		5,400 千円
清掃業務や給食の配膳といった保育に係る周辺業務を行う者の配置に要する経費を補助するものです。		
補助額：1 施設あたり月額 9万円 補助対象施設：5施設		

9	3－2－2 保育所費	保健福祉課
保育補助者雇上強化事業補助金		17,718 千円
保育士の業務負担軽減と離職防止を図るため、保育補助者の雇上げに要する経費を補助するものです。		
補助額：定員 90 人以下→2,953 千円、定員 91 人～150 人→5,906 千円 補助対象施設：5施設		

10	3－2－2 保育所費	保健福祉課
病児保育事業		4,860 千円
【病後児対応型】病気の回復期であり、集団保育が困難で、かつ、家庭での保育が困難な児童に対する保育を実施するものです。（釜石市と共同実施） 【体調不良児対応型】保育中に体調不良となり、保護者が迎えに来るまでの間、緊急的な対応を必要とする児童に対する保育を実施するものです。		
・病児保育事業負担金 537 千円 ・病児保育事業補助金 4,323 千円		

11	3－2－2 保育所費	保健福祉課
保育士等確保支援事業補助金		11,130 千円
保育士確保を支援し保育環境の充実を図るため、民間保育園等が行う処遇改善の取組に要する経費を補助するものです。		
給与の上乗せ：3,588 千円 引越費用の助成：900 千円 保育士宿舍の借り上げ：6,642 千円		

— 衛生費 —

12	4—1—3 環境衛生費	町民課
斎場整備事業に伴う造成工事		200,000 千円
斎場の安全性の確保及び景観に配慮するため、建設地の造成工事を行うものです。		
(場所) 安渡一丁目及び大槌第 24 地割 (工事内容) 切土工・盛土工・急傾斜地崩壊対策擁壁工、等		

13	4—2—2 塵芥処理費	町民課
一般廃棄物最終処分場土堰堤工事		8,046 千円
埋立堆積物の流出防止のための工事です。		
埋立地の高さ 390m から 395m までの土堰堤の設置		

14	4—2—2 塵芥処理費	町民課
リサイクルセンター既存施設解体に係る設計業務		14,000 千円
解体時の生活環境調査及び解体設計を行うものです。		
生活環境調査 9,000 千円 解体設計業務 5,000 千円		

— 労働費 —

15	5—1—1 労働諸費	商工観光課
大槌町奨学金返還助成金		1,200 千円
奨学金返還者の負担軽減と町内企業の雇用確保を目的に、奨学金返還に係る費用の一部を助成するものです。		
奨学金の返還額に対し、助成金を交付（月額上限 20,000 円） 想定人数：5 人以内 対象：大槌町奨学金以外の奨学金を利用している者で 30 歳までの U I ターン者等を想定		

— 農林水産業費 —

16	6—1—3 農業振興費	農林水産課
農産物等生産振興事業補助金		4,500 千円
農業者団体等が行う農業生産活動を支援し、大槌町の農業の振興を図るものです。		
助成内容：(1)種苗代助成、(2)生産資材等助成、(3)耕作放棄地等解消助成、 (4)震災影響緩和取組助成、(5)原木しいたけ整備助成、 (6)自発的提案型取組助成、(7)農業用施設等災害対策支援事業 平成 30 年度は、近年の異常気象を踏まえ自然災害対策の範囲を拡大予定である。		

17	6—2—2 林業振興費	農林水産課
森林経営事業		7,297 千円
森林経営計画に基づき町有林の植栽、保育、間伐等の森林整備事業を行うものです。		
・再造林費 5,079,640 円 (5ha) ・下刈作業 2,217,352 円 (9.62ha)		

18	6—3—2 水産業振興費	農林水産課
養殖漁業経営安定化促進事業補助金		3,800 千円
漁業所得の底上げを図るため、漁業者（新規含む）が実施する養殖棚整備及び種苗購入費を補助するものです。		
・補助率：1/2 以内 ・補助上限：上限 100 千円 ※養殖棚 1 台 100 千円 ※種苗種目毎 100 千円		

— 商工費 —

19	7—1—3 観光費	商工観光課
観光・物産PR事業		4,550 千円
町内事業者の製品を町外で開催される物産展等で観光PRと共に紹介し、町特産品の知名度向上と事業者の販路拡大を図るものです。 吉里吉里海岸海水浴場の安全性を確認するため海中調査を実施し、吉里吉里海岸海水浴場の開設をするものです。		
特産品出張PR事業委託料 1,100 千円 海水浴場開設事業委託料 3,450 千円		

20	7-1-3 観光費	商工観光課
観光・物産イベント補助事業		4,100 千円
町内外から多くの観光客が訪れる伝統行事「大槌まつり」のポスター制作、開催経費等の事業に対して補助を行うものです。 観光客の誘客促進及び特産品の販売促進を図るため、民間団体が行うイベントのPR経費に対して助成を行うものです。		
大槌まつりPR事業補助金 2,500 千円 観光・物産イベント実施事業補助金 1,600 千円		

21	7-1-3 観光費	商工観光課
おおつち鮭まつりPR事業委託料		4,500 千円
新巻鮭発祥の地としての情報発信や観光素材として、冬季の観光客の誘客を図るとともに、より一層のブランド化を推進することを目的に開催するものです。		
時期：12月上旬 内容：鮭つかみどりや鮭バーベキューブースの設置、水産加工品の販売会などを行うイベントを開催。		

— 土木費 —

22	8-2-1 道路橋梁維持費	環境整備課
札幌線外橋梁補修工事		18,099 千円
橋梁、長寿命化計画に基づき、橋梁について修繕工事を実施するものです。		
判定Ⅲ橋梁 11 橋のうち 29 年度:4 橋、30 年度:7 橋から選定		

23	8-2-1 道路橋梁維持費	環境整備課
社会資本整備総合交付金事業(防災・安全)		53,985 千円
町道及び付属施設等について、災害防除・補修工事等を行い安全を確保するものです。		
側溝改修工事 13,985 千円 小銃線外災害防除工事 40,000 千円		

24	8-2-3 道路整備費	環境整備課
小槌線道路改良工事（図2）		133,000 千円
地域住民の安全な交通と日常生活における利便性向上のため、町道小槌線の未改良区間の整備を行うものです。		
30年度 橋梁下部工 (橋台2基、橋脚1基、仮設工)一式		

25	8-2-3 道路整備費	環境整備課
大ケ口線(新大桁橋)橋梁整備工事等		305,999 千円
循環型道路（新大桁橋、三枚堂大ケ口トンネル）の整備による町民の利便性向上を図るものです。また、区画整理区域と漁港を結ぶ吉里吉里処理場前線を整備し、利便性の向上を図るものです。		
・大桁橋架替工:上部工一式、下部工一式 ・三枚堂大ケ口トンネル:安全設備等一式 ・吉里吉里処理場前線整備:L=200m		

26	8-2-3 道路整備費	環境整備課
社会資本整備総合交付金事業（通常）（図3）		103,170 千円
自主再建が進んでいる地区の既存町道の幅員・側溝を改良し、利便性の向上を図るものです。		
沢山迫又線道路詳細設計及び用地測量業務委託 6,000 千円 赤浜地区道路整備工事 17,170 千円 桁内2号線改修工事 30,000 千円 沢山迫又線道路改良工事 30,000 千円 田屋1号線道路改良工事 20,000 千円		

— 消防費 —

27	9-1-3 消防施設費	消防課
非常備消防施設事業		69,818 千円
東日本大震災の津波により被災した消防屯所の新築工事及び仮設車庫・詰所の解体工事、消防屯所建設用地購入を行うものです。		
・第2分団第3部消防屯所整備工事 45,000 千円 ・消防団仮設車庫詰所プレハブ撤去工事 14,818 千円 ・第2分団1・2部消防屯所整備に伴う用地購入費 10,000 千円		

28	9-1-5 防災費	危機管理室
防災行政無線デジタル子局増設工事（図 4）		32,794 千円
復興事業に伴い、住宅再建が進む防集団地や区画整理区域等、防災行政無線屋外拡声子局未整備エリアへ、屋外拡声デジタル子局の設置工事を行うものです。		
設置予定地区（三枚堂、町方、安渡、吉里吉里、浪板）		

— 教育費 —

29	10-1-1 教育委員会費	学務課
小中一貫教育全国サミット in おおつち補助金		3,000 千円
11 月 9 日・10 日に開催される第 13 回小中一貫教育全国サミット in おおつちに係る運営費です。全国小中一貫教育連絡協議会の正会員・賛助会員、一般の参加予定者 1500 名です。		
・補助金（実行委員会） 大会運営費、助言者等謝金・交通費、シャトルバス運行費 等 ・総事業費 6,000 千円		

30	10-2-2 教育振興費	学務課
カリキュラム・マネジメント事業各種経費		2,811 千円
学習指導要領の改正による小学校の外国語活動の実施に向け、教育課程編成のあり方について調査研究を行うとともに、外国語活動の先行実施を行います。		
謝金 1,600 千円、旅費 1,130 千円、消耗品費 13 千円 印刷製本費 65 千円、役務費 3 千円		

31	10-4-1 学校管理費	学務課
スクールバス購入費		20,605 千円
仮設住宅から通学する児童生徒の支援に必要となります。震災時寄贈された車両は経年劣化が激しいことから、新たに 45 人乗りスクールバス 1 台を購入するものです。		
機械器具費 20,605 千円		

32	10-6-2 体育施設費	生涯学習課
相撲場改修工事		2,500 千円
土俵、水引幕のウィンチ、扉の改修。平成 30 年度中に県大会等の開催を予定するものです。		
施工場所：寺野地区（勤労青少年体育センター横）。 土俵 1,080 千円、その他 1,420 千円。		

— 災害復旧費 —

33	11-3-1 過年発生災害復旧費 15-9-1 都市防災総合推進費	生涯学習課
社会教育施設災害復旧費（図 5）		450,000 千円
被災した赤浜分館の復旧（地上 2 階建、避難ホール合築）。平成 31 年度中の供用を目指すものです。		
施工場所：旧岩手県交通バス停車庫跡地。 ・総事業費 922,000 千円（分館 237,000 千円、避難ホール 685,000 千円）。 ・赤浜分館災害復旧工事 115,000 千円 ・赤浜地区復興まちづくり支援施設整備工事 335,000 千円 延床面積 1,227.06 m ²		

— 復興費 —

34	15-2-2 支援管理費	復興推進課
復興整備事業第 1 期工事等（図 6・図 7）		19,408,000 千円
震災復興土地区画整理事業、防災集団移転促進事業、漁業集落防災機能強化事業、道路事業、下水道事業等の復興整備事業及び上水道災害復旧事業等インフラ整備を一体的に実施するものです。		
復興整備事業管理支援業務委託料 400,000 千円 復興整備事業測量業務委託料 420,000 千円 復興整備事業地盤調査等業務委託料 100,000 千円 復興整備事業技術支援業務委託料 8,000 千円 復興整備事業第 1 期工事 17,500,000 千円 復興整備事業第 2 期工事 980,000 千円		

35	15-2-2 支援管理費	復興推進課
大槌町復興整備事業【効果促進】(図8)		109,100 千円
防災集団移転促進事業により買収した移転元地の有効活用のため、産業用地、運動施設、湧水環境活用エリア等の整備を図ろうとするものです。		
集約まちづくり基盤施設整備設計業務委託料 38,000 千円 運動施設整備基本設計業務委託料 32,900 千円 郷土財活用湧水エリア整備基本設計業務委託料 27,200 千円 土地購入費(集約まちづくり基盤施設) 11,000 千円		

36	15-2-5 市街地整備費	都市整備課
町方地区復興整備委託料等		356,925 千円
町方地区震災復興土地区画整理事業において、区画整理事業の残工事の実施及び JR 踏切の負担金を支払うものです。 町方地区津波復興拠点整備事業において、先行街区及び県道工事を実施すること及び旧役場エリア事業認可拡大に伴う調査設計費を支払うものです。		
・UR 委託費 185,200 千円 ・拠点調査費 10,000 千円 ・拠点工事費 26,000 千円 ・JR 負担金 135,725 千円		

37	15-3-1 効果促進政策費	総合政策課
大槌駅駅舎整備事業【効果促進】(図9)		123,300 千円
平成31年4月三陸鉄道開通に向けて復旧する大槌駅について、観光交流拠点として整備することとしており、平成30年度は建設工事を行います。なお、大槌駅はひょうたん島デザインの駅舎とし、駅舎や駅前広場にはひょうたん島のキャラクターを配置するなど、大槌町の玄関口として人が集う仕掛けづくりをしていきます。		
建築 87,372 千円 工事監理 3,300 千円 外構工事 2,500 千円 太陽光パネル 5,600 千円 等		

38	15-4-2 水産業共同利用施設復興整備事業(後期型)	農林水産課
水産業経営基盤復興整備事業補助金		55,000 千円
水産業の経営基盤の復興を図るため、漁業協同組合が建設する事務所の建設費用を補助するものです。		
・場 所：安渡産業集積地 ・補助率：7/8 以内(水産業共同利用施設復興整備事業同率補助)		

39	15-6-1 道路費	環境整備課
新町末広町線道路整備工事（図 10）		76,792 千円
周辺県道と町方地区区画整理事業とともに一体的整備を行い、交通ネットワークを構築するものです。		
施工箇所:安渡橋手前 道路整備 L=97m		

40	15-6-5 効果促進土木費	環境整備課
大槌町復興整備事業【効果促進】		346,600 千円
寺野地区の人口増加に伴う歩行者の安全確保のために人道橋を設置するものです。また、既存町道で三陸沿岸道路工事により舗装損傷が著しい路線について舗装修繕を実施するものです。		
臼澤人道橋整備工事 236,600 千円 町道舗装修繕事業 110,000 千円		

41	15-8-5 災害公営住宅整備費	住宅課
災害公営住宅建物購入費（図 11）		1,548,678 千円
応急仮設住宅などに入居している被災者の居住の安定を図るため、低廉な家賃で入居できる災害公営住宅を整備するものです。		
町建設の災害公営住宅については H25～H29 年度までに 380 戸が完成し、H30 年度は 84 戸の完成予定となっております。また、現時点で県が建設する災害公営住宅は 414 戸で、町建設分との合計戸数は 885 戸を予定しています。		

42	15-12-1 復興支援費	コミュニティ総合支援室
コミュニティ形成事業		96,200 千円
応急仮設住宅に仮設支援員を配置し、入居者の見守り、集会所等の管理等を行うものです。また、入居者の心のケアや生きがいづくり、外出機会の創出等といった取り組みの実施、NPO等の支援団体に上限 200 万円の補助金を交付するものです。 地域のコミュニティ形成及び強化等の推進、構築を図るものです。また、コミュニティ形成及び地域の課題解決に取り組む町内会等の団体に対し上限 19 万円の補助金を交付するものです。		
応急仮設住宅支援員運営業務委託料 40,000 千円 地域コミュニティ形成支援業務委託料 25,000 千円 大槌町コミュニティ活動助成金 5,700 千円 大槌町心の復興事業補助金 25,500 千円		

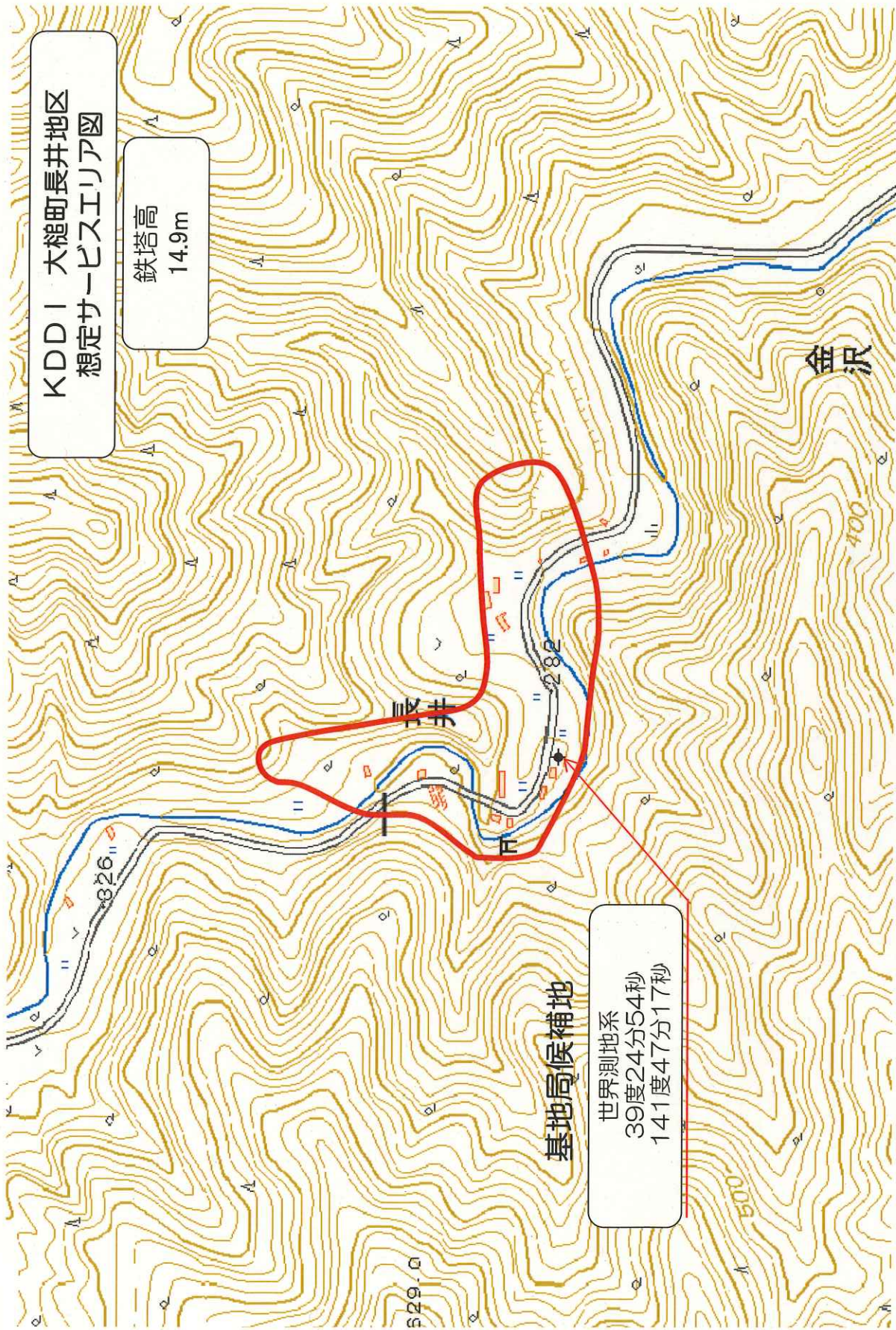
43	15—12—1 復興支援費	コミュニティ総合支援室
区画整理地内住宅建設支援金		200,000 千円
土地区画整理事業の使用収益開始から2年以内に建築着手し、自らが居住する住宅を建設する場合、住宅建設費用の一部を補助するものです。		
補助額：1,000 千円、交付見込件数：200 件 平成 29 年度実績：115,000 千円、交付申込件数：115 件		

44	15—12—1 復興支援費	コミュニティ総合支援室
区画整理地内用地取得補助金		80,000 千円
空き地バンクを利用して区画整理地内に住宅を新築した場合、宅地取得費用の一部を補助するものです。		
補助額：1,000 千円、交付見込件数：80 件		

45	15—12—1 復興支援費	商工観光課
仮設店舗解体設計及び工事		117,610 千円
仮設店舗の撤去に係る解体設計及び解体工事を行うものです。		
解体設計業務委託 6,455 千円、仮設店舗解体工事 111,155 千円		

46	15—12—1 復興支援費	商工観光課
まちなのにぎわい創出事業		80,000 千円
民間テナント施設の整備に対して費用の一部を補助するものです。 新規創業・復旧事業者の店舗整備に対して費用の一部を補助するものです。		
民間テナント施設整備補助金 60,000 千円 なりわい支援補助金 20,000 千円		

47	15—3—1 効果促進政策費	震災伝承推進室
東日本大震災津波記録誌作成委託料		8,853 千円
東日本大震災で大槌町が被った被害、発災時における対応、復旧復興に向けた取組を記録誌として取りまとめます。 記憶の散逸、風化を防ぐほか他市町村の災害時の行政対応や危機管理にも役立てるような内容として作成します。また、支援をいただいた全ての方へ感謝の気持ちを伝えることも目的としています。		
・震災記録誌で取り扱う復興期間：発災時から平成30年度までの約8年間 ・震災記録誌の編纂に係る基本方針 事実を伝える・町民の行動及び想いを中心とする・後世への教訓とする内容・支援者への感謝		



沢山迫又線道路詳細設計及び用地測量業務委託

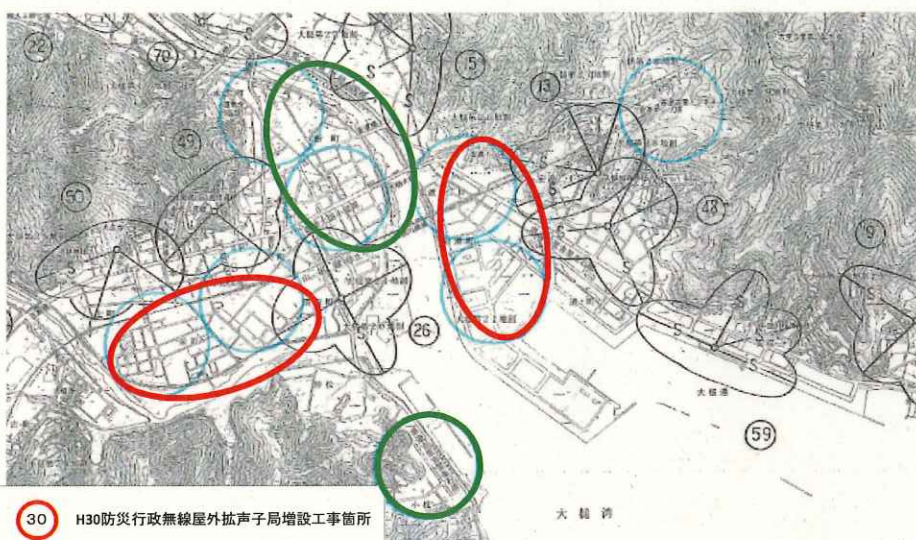


縮尺 1 : 2500

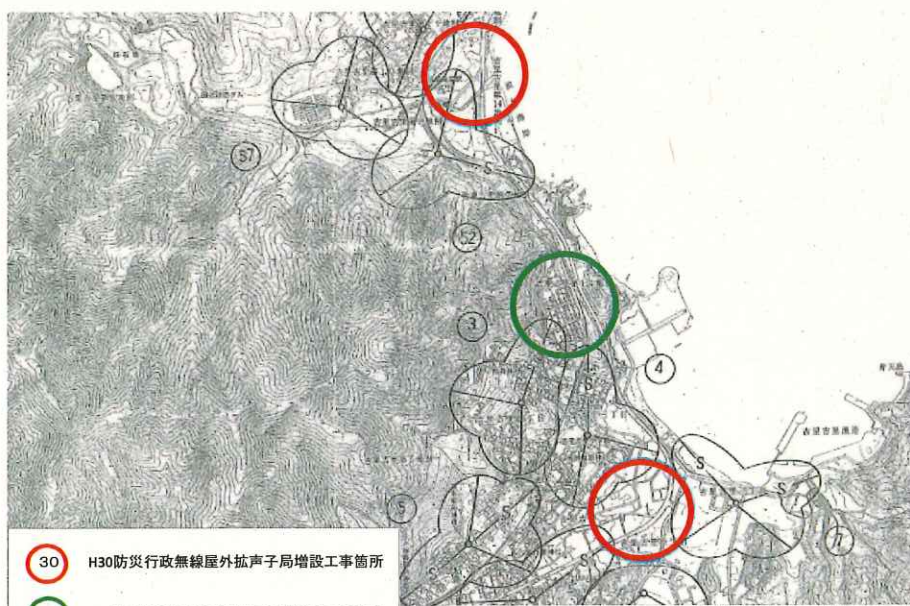
201505 0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120



三枚堂地区



町方地区ほか



吉里吉里・浪板地区



■平成30年度 一般会計当初予算概要 大槌町復興整備事業

※各復興事業における主要な施工範囲を図示

震災復興土地地区画整理事業、防災集団移転促進事業、漁業集落防災機能強化事業、道路事業、下水道事業等の復興整備事業及び上水道災害復旧事業等インフラ整備を一体的に実施するもの。





■平成30年度 一般会計当初予算概要 大槌町復興整備事業【効果促進】

防集移転元地に係る集約まちづくり基盤施設整備事業

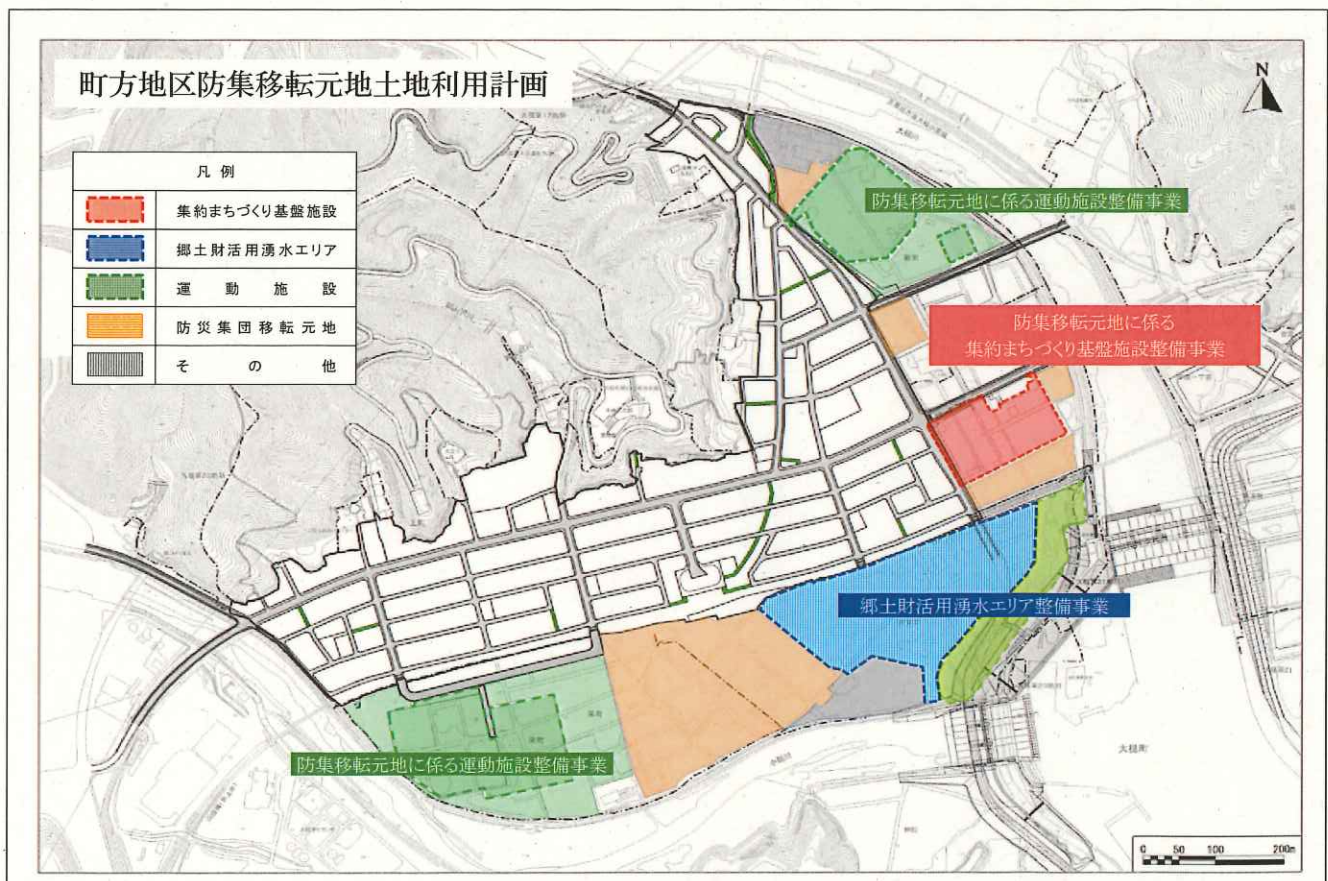
先行して整備されている 町方地区津波復興拠点整備事業区域における特定業務施設とあわせて地域産業の早期復興に資するとともに、防災集団移転促進事業により買収した移転元地の有効活用のため、被災事業者、誘致企業等の産業用地として基盤整備を実施するもの。当初予算においては実施設計業務委託料を計上。

防集移転元地に係る運動施設整備事業

防災集団移転促進事業の移転先と災害公営住宅、及び県立病院再建用地とするため廃止した運動施設の整備を図ろうとするもの。本事業においては、防集移転元に整備された、既設の仮設グラウンドを活用することで早期整備と移転跡地の有効活用を図るもの。当初予算においては基本設計業務委託料を計上。

郷土財活用湧水エリア整備事業

町方地区の防集移転跡地において、被災後残置された水路や自噴井群、震災による地盤沈下の影響等によりイトヨに代表される希少動植物が生息する湧水環境が形成された。これらを郷土の貴重な財産と位置づけ、環境及び生態系の保全を図りつつ、市街地エリアと共生する上での必要な施設整備を図ろうとするもの。当初予算においては基本設計業務委託料を計上。

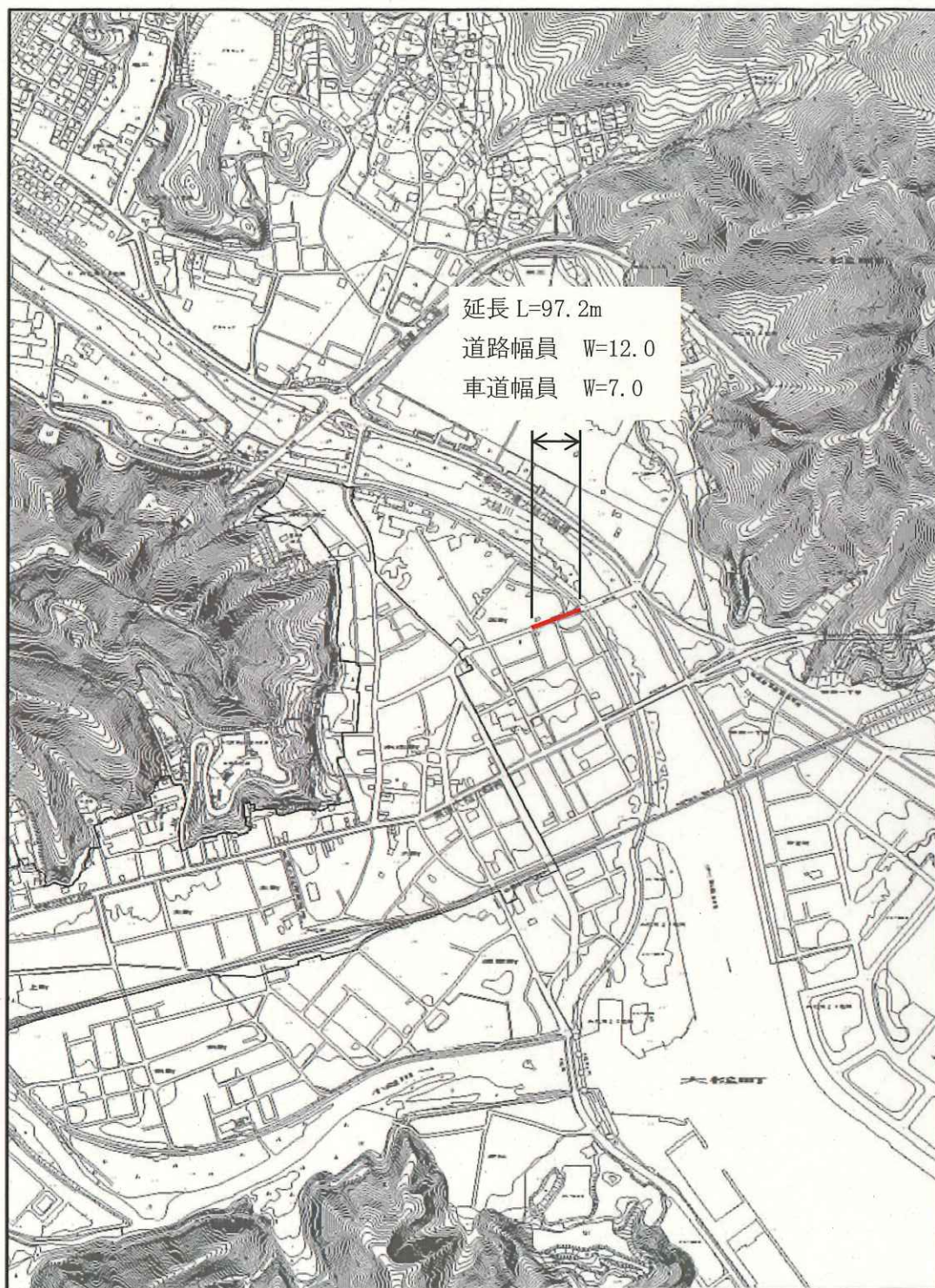


※H29.12.1 議員全員協議会資料より抜粋



町道新町末広町線道路工事整備

・位置図



町方地区



平成30年度 完成箇所

安渡地区



※入居予定者の辞退等により、建設戸数を削減する場合があります。